

プレゼンテーションと Web サイト作成の指導例

一斉指導とグループワークを混ぜながら

千葉県立八千代東高校 谷川 佳隆

平成 26 年 3 月まで勤務していた千葉県立船橋芝山高等学校での選択者を対象とした「情報 C」では、前半にプレゼンテーション、後半に Web サイトの作成を主にした指導をしてきた。2 単位の中でこの 2 つをどのように工夫しながら指導したかを紹介します。

1. 選択情報について

2 年次に「情報 B (平成 26 年度からは「情報の科学」)」2 単位を必修としている。必修では教科書の内容をかなり指導しているので、選択科目では実習 (プレゼンテーションと Web サイトの作成) を中心とした指導をしてきた。ただ 2 単位なので時間的な制限が大きい。

1.1 選択情報の位置づけ

2 年次の自由選択か 3 年次の文系選択した生徒は「情報 C (平成 26 年度から「社会と情報」)」を 2 単位、学ぶことができる。ただし、希望が 2 倍近いため半分ぐらいの生徒しか選択できない。

1.2 選択の情報の指導計画

1 学期にデータの処理とグラフ化とプレゼンテーションの作成と発表準備、2 学期にプレゼンテーションの発表と相互評価と Web ページの作成、3 学期に Web サイトの完成をめざした。

1.3 グループワークの活用

プレゼンテーションの発表や Web サイトの作成を一人だけにするのではなく、グループで行った。そのために、次のような 3 つのワークショップを行い、グループ内でのコミュニケーションがスムーズにできるような授業展開を考えた。

3 つのワークショップは「マシュマロ・チャレンジ⁽¹⁾」「匠の里⁽²⁾」「おもしろ村⁽³⁾」である。「マシュマロ・チャレンジ」は 50 分内に 2 回でき、「匠の里」「おもしろ村」も 50 分内ででき、「おもしろ村」は「匠の里」の発展版となる。

2. プレゼンテーションの指導

必修ではプレゼンテーションの指導ができていなかったため、選択者にプレゼンテーションの指導を多くの時間を割いて行ってきた。

発表は一人で行い、発表内容の縛りは設けていない。なかなか発表内容を決られない生徒につい

ては、テーマいくつか与えた。できるだけ参考となるデータを見つけ、客観的な資料となるグラフをスライド内に入れるように指導した。

2.1 発表方法

発表者はあくまでも話すのみとした。パソコンの操作を次の生徒に、時間の掲示は発表を終えた生徒に、行わせた。また必ず発表に対して質問するように指示し、2 回前に発表した生徒に必ず質問をさせ、そのほかに希望者がいれば、質問をさせた。

2.2 評価

お互いの発表を相互評価させた。項目に沿って 5 段階で評価させ、表計算のシートで提出させていたが、のちに Web ページを活用して評価させ、即時に評価結果を生徒にフィードバックした。



図 1 生徒が発表している様子

3. Web サイト作成の指導

簡単な Web ページなら自分で作れるのだという経験をぜひさせたいと思い、指導している。

初年度は各自でページを作らせていたが、何のために Web ページを作るのかという目標が不明確だったので、1 年間で学んだ内容をまとめることとした。

3.1 なぜグループで Web サイト作成

2 単位と限られた時間の中で、Web サイトの完成までを各個人で行うことは Web ページ作成経

験ある生徒には可能であるかもしれない。しかし、全員が目指すには厳しい。Web サイトが中途半端に終わってしまうことは避けたい。そこで、Web サイトをグループで作成し完成させることとした。

3.2 Web サイトの構成

Web サイトの構成は、ホーム（サイト内容の紹介）・1 学期の学習内容・2 学期の学習内容・3 学期の学習内容・学校紹介の 5 ページからなる。

1 年間学習した内容をグループで作成することとし、5 ページから構成されるページのうち 2 枚は各自で一斉指導の中で完成させ、残り 3 ページは分担して作成し、そのページを自分用に変更して、Web サイトを完成させるよう指導した。

3.3 Web ページの作成方法

Web ページの作成にはエディターソフト TeraPad⁽⁴⁾ を活用した。

0 からページを作成するのには時間が足りないし、全員が Web サイトを完成させるには無理があるので、サンプルサイト⁽⁵⁾ を活用することにした。

サンプルをもとに、まず「ホーム（サイト内容の紹介）」と「学校紹介」の 2 ページを各自で作りながら HTML の基本的なタグや構造を覚えさせた。

残りの 3 ページを、グループは 5 名を基準とし、担当箇所は、1 学期前半・1 学期後半・2 学期前半・2 学期後半・3 学期の 5 カ所に分け担当させた。

グループで担当したページをそのままそっくり利用できず、各ページのタイトルとフッターと、各自が作成した 3 つのプレゼンテーションスライドをページ内に表示する必要があり、各自のオリジナルのサイトが出来上がる。

表1 Web サイトの構成ファイル

サンプルサイト	完成したサイト
css	css
images	images
js	js
index.html	annnai.swf
	ichi.html
	index.html
	ni.html
	pp1.swf
	pp2.swf
	san.html
	shibayama.html

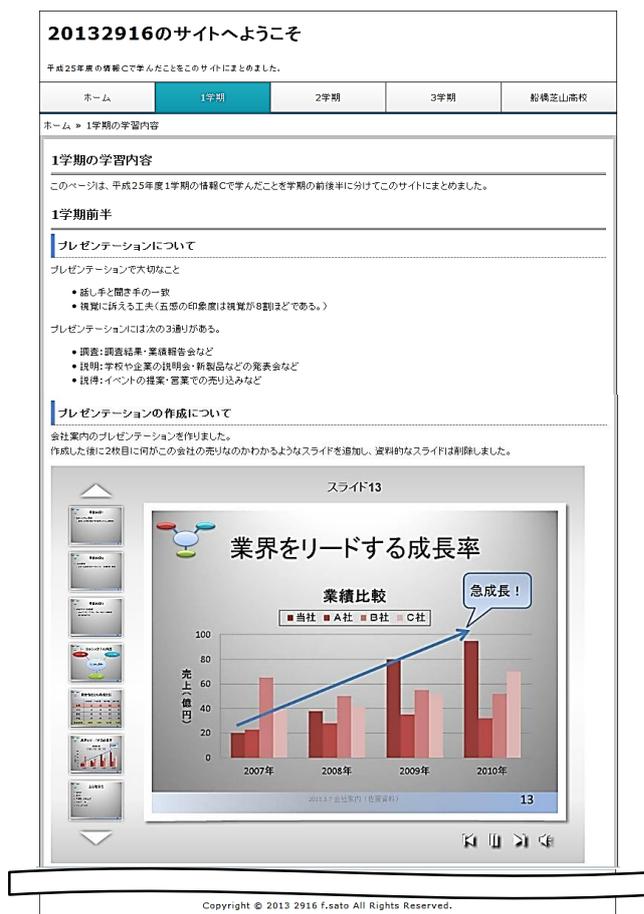


図2 生徒が作成したページの例

4. グループワークを取り入れて

限られた時間内にどのように指導したらよいかということからグループワークを取り入れた。グループワークを取り入れたことで、生徒が楽しく学ぶようになったと感じている。

参考サイト

- (1) Tom Wujec: Build a tower, build a team
http://www.ted.com/talks/lang/ja/tom_wujec_build_a_tower.html
- (2) 「匠の里」 実物見本
http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/kyouz_aikoukai/pdf/CreativeSchool.pdf
- (3) 進路意識を高め、学校生活に前向きに取り組むためのエクササイズ
http://www.apec.aichi-c.ed.jp/shoko/kokoro/ex_3-1.html
- (4) TeraPad
<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/library/tpad.html>
- (5) シンプル CSS テンプレート [Cool Web Window]
<http://www.coolwebwindow.com/template/simple.php>